

認定特定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロント

Lieber Freund

発行：認定特定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会事務局

TEL 088-686-9999 FAX 088-686-9994

http://www.naruto-9.com/ E-mail : kanki@naruto-9.com

vol.16

2016年8月21日発行



アジア初演百周年へ、感動の第九でカウントダウンが始まりました

“2018年6月 アジア初演百周年”へカウントダウンが始まった第35回ベートーヴェン「第九交響曲演奏会」いわゆる【なるとの第九】が、平成28年6月5日、鳴門市文化会館において盛大に開催されました。北は北海道から南は鹿児島まで、全国各地から遠路はるばる「第九アジア初演の地」へかけつけてくださった“第九大好き”の全国の皆様、徳島県下の西から南から、昼間のお仕事の疲れもみせず、毎回ご熱心に練習に参加された【なると第九】の仲間の皆様、今年も心に響く感動の「第九」を聴かせてくださってありがとうございました。

開場前から長蛇の列ができ、今か今かと待ちくたびれ、大変ご迷惑をおかけした観客の皆様、今年も【なるとの第九】をお聴きくださりありがとうございました。最近の「第九」は、鳴門市民、徳島県民の皆様にも広く親しまれるようになり、千三百席が毎回満席となり、立ち見の方もいらっしゃるようで、私達関係者一同とても感謝しております。お聴きくださるお客様あつての演奏会でございます。これからも【なるとの第九】を愛し、応援して下さることを心より願っております。

昨年の指揮者は鳴門の姉妹都市リューネブルクよりお迎えしたドーシュさんでしたが、今年の田中一嘉先生のタクトはいかががございましたか。日本のみならずヨーロッパでも広くご活躍の先生の「第九」は、百名のオーケストラと六百名の合唱団をひとつにまとめられ、誠にお見事でした。私自身、毎年鑑賞しながら、今年しか味わえない感動と新しい発見を体験しております。



弾む心と体を感じた幸せな第九でした。合唱団とオーケストラ、観客の心をひとつにまとめてくれた田中先生に感謝！

また、この【なるとの第九】を裏方として支えてくださる大勢のボランティアの皆様にも、心よりのお礼を申し上げます。鳴門の出演者の方は一人一役で、出演しないボランティアの方は終日にわたり、事前の資料準備から当日の受付・コーヒーのお世話・弁当の配布から後片付け、交流会の最後までのお世話…数え上げたらきりがありませんが、皆様の支えがあって、【なるとの第九】はここまで育ってきたのです。これからもご支援ご協力よろしく願いいたします。

百周年も間近となりました。鳴門市挙げての心強い取り組みをいただいて、どんな百周年になるか、とてもわくわくしています。スタッフの方はこれからが大変な時期となりますが、皆様で心を合せて大事業を成し遂げて参りましょう。今後とも大勢の市民・県民の皆様そして全国よりご参加の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(認定特定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会

理事長 大塚 道子)



鳴門「第九」新世紀を見据え、新企画も続々！

100周年に向けて、市や学校、マスコミ、ボランティア団体が一丸となり、さまざまな取り組みを始めています。ひとつひとつの渦がいっしょになって大きな渦が生まれ始めているのを感じます。

鳴門市の子ども達に生の第九を。 ゲネプロに招待しました



新世紀を担う子ども達に、第九を体験してもらおうと、今年の演奏会では、鳴門市内の小・中学生62人をゲネプロに招待しました。瀬戸中学校の生徒さん達は「音がバラバラにならずにまとまって音楽ができていのに驚いた」「すごい迫力で、特に合唱団の方々が一斉に歌い出す時にはびっくりした。また、演奏をしている人、歌っている人全員が楽しそうだったので、なんだかこっちも楽しくなってきた」「楽器の数や種類がたくさんあり、形がよく似た楽器でも、音色はまったく違って驚いた」と、初の第九を十分に楽しんでくれたようです。来年以降も続けていこうと考えています。

最年少記録を更新！ 初の小学生参加を迎えました

大阪の「すばる第九を歌う会」から、おばあちゃんさむかわの寒川ももか頼子さんといっしょに参加した徳永萌々花ちゃん（10歳）は小学5年生。鳴門第九初の小学生です。といっても、すばる第九には小学校2年生から出演しているベテラン(?)。3歳からピアノを習っていて、ピアノの先生から「歌も上手だからやってみたら?」と勧められたのがきっかけだとか。本番は、おばあちゃんの隣でのび



やかなソプラノを響かせ、「ちょっと足がつつたけれど、楽しかった。ソリストの人達の声がきれいだった」と笑顔で話してくれました。音楽が大好きで、将来は音楽大学に進みたいという萌々花ちゃん。来年もぜひ歌いにきてくださいな。

徳島新聞で連載がスタート。 「第九 永遠とわなり」 鳴門初演100年



「かごしま第九を歌う会」会長の重久瑞さん、初の車椅子参加者の吉田真梨子さん、「ふくしま第九`すみだ歌う会。」の皆さん、鳴門第九の顔である浅野司郎・里江ご夫妻、徳島交響楽団、第九指導者の大井美弥子先生と、それぞれ違った視点からの記事は読み応えがありました。連載が完結したら一冊にまとめてほしいなあ……。

本番間近の5月24日、徳島新聞朝刊で「第九 永遠とわなり」と題した連載が始まりました。新聞の顔である第一面に熱のこもった筆致……。第九スズメ達は顔を合わせるたびに「載ったな!」「ええ記事やな」「次は誰かな」とワイワイ。この連載の取材・執筆をされているのが編集委員の藤長英之さんです。「取材を通して、鳴門の第九に関わる皆さんの情熱に深い感銘を受けました。鳴門の第九が象徴する平和と友愛の精神は、不寛容の時代とされる今の世の中にこそ、強く求められるものです。2年後の100周年に向け、その意義を広く発信できればと思います」と藤長さん。

近く第2章が始まります。乞うご期待!



徳島新聞編集委員の藤長英之記者

ついに！ 鳴門第九DVD 演奏会の感動をもう一度…

リクエストの多かった演奏会のDVDがついに実現しました。Tシャツやトートバッグ、マグネットなどのオリジナルグッズと並んで、売り場の人気を集めました。同じ会場で演奏していても、指揮者によって



笑顔で宣伝・受付にいそむ八木夫妻 毎年違った音色、ドラマ、感動を見せてくれるのが鳴門の第九。歌う姿勢や表情のチェックもできます(笑)。8月上旬に完成予定です。楽しみです。



美術と音楽の華やかな饗宴。 今年も美術館で第九演奏会



鳴門第九の翌日は大塚国際美術館へ——。すっかり定着し、年々ファンを増やしている「美術館で“なる”の第九」が6月6日に開催されました。4人のソリストの歌曲やオペラアリアに続き、朝香友貴さん・吉成くみさんによるピアノ連弾でブラームスの「交響曲第1番」より第1楽章が演奏されました。そして、フィナーレは全国各地、L.A.からの29団体206人による第九。ミケランジェロの壁画に彩られたシステリーナ・ホールに歓喜の歌が響き渡りました。田中一嘉先生の指揮で合唱団の皆さんの顔も輝いていました。



師弟による連弾。お二人にとっても、めったにない機会だったのでは？

第九体操に阿波おどり。 食べて歌って踊った交流会

演奏会の感動そのままに交流会の開幕です。第1部は文化会館で、指揮者やソリストのお話を伺いました。「600人でピアノシモまでよく出せるものだと感心しました。相乗効果でオーケストラまで合唱団の音楽に耳をそわせて合わせました。心の中のほうまで音楽が入ってくる喜びを感じました」という指揮者・田中先生の言葉に、再び感動が蘇ります。



頃安先生の指導で「第九体操」の実践も。第九を歌いながらの体操は圧巻でした

第2部は鳴門市民会館に場所を移して、鳴門のグルメを堪能しながら、歌い、しゃべり、笑い、そして阿波おどり。最後は「Freude三唱」で幕を閉じました。



うたの広場「NKB」の子ども達のかわいい歌声で第2部がスタート

鳴門第九のシメはやはり喜びあふれる阿波おどり



カメラマンは見た！

第1回演奏会のパネル前で、35年前の自分に遭遇。パネルがどこにあるかって？探してみてね



受付やドア係を担当するお嬢さん達に、仕事やマナーのレクチャーをする飯原副理事長。大事ですよ！



腹がへっては戦はできぬ。今年のお弁当のお味はいかがでした？



活動の記録

第九を通じた音楽文化の普及、地域や全国の仲間との交流も私たちの大事な活動です。今年の活動の中から主なものをご紹介します。

コーラス9

県内研修

❖ 平成27年度総会&研修会

2015.8/23 於：鳴門市老人福祉センター
バリトンの刘宇(Liu Yu)さんの独唱、そして、第九ピアニストの朝香友貴さんとご主人・尚斗さんによる夫婦デュオという豪華プログラムの研修会でした。総会では、100周年のプレ事業として2017年春に予定されている第4回「第九」里帰り公演についての概要が発表されました。



県外研修

❖ 2015「かがわ第九」演奏会に参加

2015.11/8 於：香川県高松市・アルファあなぶきホール

❖ サントリー 1万人の第九に参加

2015.12/6 於：大阪府・大阪城ホール

❖ 「L. A. Daiku ニューイヤーコンサート」に参加

2016.1/10 於：アメリカ・日米文化会館「アラタニ劇場」

毎年、ロサンゼルスから参加いただいているL.A.Daiku。昨年に続いて亀井副理事長が、海を越えて伺いました。日本では第九といえ



ば年末ですが年明けの第九もいいものですね。



その他行事

❖ 農協ツアー感謝祭「四国のお祭り大集合」で第九♪

2015.9/5 於：鳴門市文化会館

香川の菅生神獅子舞、愛媛の牛鬼祭り、高知のよさこい、そして徳島の阿波おどり！四国の伝統芸能が一堂に会して圧倒的なパフォーマンスを披露するイベントに、徳島を代表して「第九」が出演。60名を超える合唱団有志にご参加いただき、第4楽章の抜粋でオープニングを飾りました。

指揮：大井美弥子 ソプラノ：真鍋美恵 アルト：酒井美里
テノール：船越達也 バス：刘宇 ピアノ：平賀理絵



意外に違和感なかったような…。和洋違えど、同じ「歓喜」ですものね

❖ 第九の里コンサート 2015.8/2 於：鳴門市ドイツ館
「故郷を離るる歌」「ドミニクス・ミサ」からKyrie
指揮：大井美弥子 ピアノ：向井真紀子

❖ 第22回ドイチェス・フェスト in なると

2015.10/11 於：鳴門市ドイツ館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

❖ 第38回鳴門市芸能祭 2015.10/25 於：鳴門市文化会館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

❖ コーラス9 第10回演奏会「ニューイヤー・コンサート」

2016.1/11 於：大塚ヴェガホール

2016年は第10回演奏会で幕開けしました。第1部は「春」をテーマにした歌曲、オペラのアリアやアンサンブルでソリストの歌声を楽しみました。第2部はモーツァルト作曲「ドミニクス・ミサ」を演奏。3年がかかりでついに全曲演奏が叶い、第10回の節目にふさわしい演奏会となりました。

指揮：山田啓明 ソプラノ：真鍋美恵、酒井美里 テノール：頃安利秀、市岡雅明 バリトン：刘宇 ピアノ：頃安三紀、三村加奈、平賀理絵 合唱指導：大井美弥子 合唱：コーラス9



第11回演奏会は、2017年1月9日(月・祝)14:00より、鳴門市ドイツ館にて、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」(抜粋)ほかを演奏します。大勢の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

鳴門「第九」を歌う会は県内初の認定NPO法人です

認定特定非営利活動法人制度は、NPO法人の活動を支援するために設けられた制度です。以前は国税庁長官が認定を行う制度でしたが、法改正により平成24年4月1日から所轄庁が行う新たな認定制度として創設されました。

NPO法人鳴門「第九」を歌う会では、平成25年11月25日、徳島県で初めてこの認定制度を取得しました。これにより当会の活動に対して個人や法人が寄付をした場合、税制上の優遇措置を受けられるようになりました。この優遇措置を継続的に受けるためには、毎年3000円以上寄付していただく家族が、100家庭以上必要となります。

2018年のアジア「第九」初演100周年に向けて、「第九」を歌う会会員とともに、活動に賛同してご寄付くださる賛助会員の皆様のご支援がいただけますよう、よろしくお願いたします。



笑顔と感動いっぱいだった今年の演奏会。会報ももりだくさんの内容で編集にうれしい悲鳴をあげています。来年、そして再来年の100周年に向けて、もっともっと笑顔が広がっていきますように！(広報委員一同)